

平成25年度当初予算について

-----▶ 平成25年4月

I. 予算編成について***

平成25年度の予算編成は、「第10次三朝町総合計画」に基づき、町民の皆さんに「三朝町に住んでよかった」と思ってもらえるような「心豊かでキラリと光る町」の実現に向けて取り組みました。

本年は、昭和28年に三朝村・旭村・竹田村・小鹿村・三徳村が合併し「三朝町」が発足して以来60年を迎える年となります。この節目の年を迎え、これまで先人が築いて来られた三朝町の姿を今一度振り返り、さらなる発展を期する年にしたいと考え、「**歴史・人・夢をつなぐ“温故知新”**」をキーワードに各種の記念事業を行っていくこととしています。

また、町内初の幼保一体型の子育て施設「みささこども園」を、地域子育て支援センターやファミリーサポートセンターを併設した、三朝町の子育て支援拠点施設として十分に活用していきます。

さらに来年は、三朝温泉開湯850年という大きな節目の年を迎えます。ラドン温泉の効能などにより、全国から多くの方々に治療や保養においていただいておりますが、さらに活気に満ちた三朝温泉となるよう開湯850年を契機に平成25年度から3年間さまざまな事業に取り組んでいきます。

町制施行60周年、三朝温泉開湯850年と、さまざまな記念事業を予定しております。町民の皆さまには、どうぞご参加いただき一緒にお祝いいただきますようお願いいたします。

II. 予算の規模及び主な事業***

平成25年度当初予算の総額は 4,310,000千円です。

(前年度に比べ 497,000千円 10.3%の減)

主な事業と取組みの概要 ☆

1. はたらく・・・皆が“誇りをもって活躍できる”町

◎観光と農林業の連携を推進することで雇用対策の充実を図ります ★

三朝温泉の拠点施設の核として整備する「三朝温泉観光拠点施設整備事業」に

32,800 千円、三朝温泉開湯850年を迎えるにあたり記念事業や三朝温泉のブランドデザイン策定など 3,400 千円、三朝温泉の効能評価の研究委託として 1,600 千円、観光客の誘致活動を国内外で展開するため、三朝温泉おかみキャラバン支援事業 571 千円、観光客誘致対策推進費 991 千円、国内交流都市観光客誘致対策事業に 123 千円、観光関連産業の振興を図るために観光振興地域交付金 2,865 千円などとしています。

農林業では、良質米として知られる三朝米は、きぬむすめが日本穀物検定協会により2年連続「特 A（最高ランク）」に評価され、コシヒカリと合わせて三朝米をブランド化するための支援に 6,840 千円、みささの味わい発信事業 621 千円など行い、販路の拡大や生産振興に努めます。また、本町の特産品である梨の生産振興では、次世代鳥取梨ブランド化創出事業補助金 584 千円、鳥取二十世紀梨ブランドリバイバル事業補助金 1,070 千円、果樹共済掛金助成補助金 256 千円などにより栽培農家の負担軽減を図ります。また、イノシシやカラスなどの被害対策とする鳥獣被害対策事業 27,913 千円、森林環境の保全のためのナラ枯れ被害対策 1,600 千円、緑の産業再生プロジェクト 85,937 千円では、間伐や森林の境界明確化を行い、森林資源を活用した林業・木材産業の再生を行います。

雇用対策では、県が造成した基金の活用で行う緊急雇用創出事業に7事業 15,075 千円、若年層の雇用の拡大と地元への定住を図るため、三朝町新卒者雇用奨励事業 3,360 千円としています。

2. すむ・・皆が“安全で安心して暮らす”町

◎子育てや福祉、教育の充実を図り、安心安全な暮らしを守ります ★

今年で3回目を迎える、中学生による手作り訪仏事業 2,013 千円、中学校での英語教育充実のための外国人指導助手の配置に 4,556 千円、東小及び南小学校における複式学級解消のための経費として 15,000 千円、少人数学級加配教員配置負担金 2,000 千円、小中学校の特別支援員の配置に 9,098 千円、他に小中学校の運営費として 74,161 千円、児童生徒への遠距離通学費補助など小中学校教育振興費として 16,447 千円などとしています。

また、放課後児童対策費（東小・西小・南小） 17,247 千円、病後児保育事業 191 千円、乳幼児及び中学3年生へのインフルエンザ 接種助成 418 千円、児童手当給付費 101,699 千円、子宮頸がん等ワクチン接種助成 3,630 千円、おたふく風邪予防接種費助成 475 千円、不妊治療費助成 1,200 千円など、みささこども園内では地域子育て支援センター事業 3,327 千円やファミリーサポートセンター事業

2,350 千円などを行い、子育てしやすい環境づくりを行います。

障がい者の方が自立した生活を支援する事業費として 174,421 千円、老人福祉対策費 14,475 千円、身体障がい者の方や小中学生、特定疾病の方などの医療費を助成する特別医療給付費 46,695 千円、「100 歳元気なまちづくり」のための施策として、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成 900 千円、高齢者インフルエンザ接種助成 2,250 千円、がんの早期発見及び治療を目的に、子宮頸がん・乳がん・大腸がんについて、特定年齢の方を検診無料とするがん検診事業に 1,724 千円、胃がん検診の受診率を上げるため、特定年齢（60 歳）の方の自己負担金を無料とするなどの特定健診推進事業費として 12,147 千円などにより町民の健康づくりを推進します。

道路新設改良事業費 26,137 千円、道路・橋梁整備事業費 4,598 千円、除雪対策費 12,296 千円、交通安全施設整備費 1,050 千円などに取り組んでいきます。

3. かかわる・・皆が“主役で地域を大切に”町

◎次世代につながる人材育成、地域づくりを推進します



ラマルー・レ・バン町へ、中学生による手作りの訪仏事業 2,013 千円（再掲）、ラマルー・レ・バン町からの交流団受入事業 1,716 千円、三朝町と城陽市との交流事業 441 千円と、姉妹都市との友好交流を図ることとしています。

町内6つの地域協議会へ地域活動支援交付金 9,000 千円、公民館などの活動拠点施設管理費 5,377 千円、三朝町キラリと光る町づくり支援交付金 2,000 千円、地域おこし協力隊活動費 7,340 千円、地域づくり人材育成事業 651 千円などにより、地域づくり・活動を支援します。

生涯学習の拠点施設の図書館経費 27,208 千円、学校支援推進事業 925 千円、人権教育推進員 1,152 千円、人権・同和対策事業 1,228 千円、男女共同参画事業 178 千円などにより、ひとりひとりを大事にし、一生涯継続して学習することの出来る環境づくりを行います。

また、スポーツ活動の推進として、選手強化や育成を推進するため体育協会への委託金として 2,200 千円、三朝町スポーツ少年団の育成として 638 千円、京都府城陽市とのスポーツ交流事業 441 千円などを計上しています。

4. つながる・・皆が“連携による効率的な”町

◎情報化を積極的に推進し、中部圏域の市町と連携を図ります



中部ふるさと広域連合負担金として 192,251 千円、後期高齢者医療給付費負担金として 107,441 千円、成年後見支援事業 276 千円、休日保育事業 21 千円など、

中部圏域の市町と連携を持ちながら事業をすすめます。

ふるさと納税を促進し（ふるさと応援寄附金特別経費 5,132 千円）、情報化の推進を図るため e-misasa エリアネットワーク事業 21,654 千円、鳥取情報ハイウェイ管理費 490 千円、行政ネットワーク管理費 5,898 千円、中学校学習用パソコンの整備 4,300 千円などにより情報化を積極的に行います。